

真澄会報

発行所
横浜市西区岡野1-5-8
神奈川県立
横浜平沼高等学校
同窓会 真澄会
発行責任者 鈴木宏司
印刷 (株) サラト

真澄会ホームページ
<http://www.masumikai.org>
真澄会 検索

同窓会は皆様の会費で運営しています。会費納入にご協力ください。

財政の健全化へ 見直しで検討委設置

平成25年度 総会開催

山口顧問のミニ講演会も

平成25年度総会が5月19日(日)、午後1時より、母校小ホールにて開催された。

開会に際して鈴木会長からは、主管校として携わった第7回校歌祭の成功をねぎらうと共に、校歌祭の成り立ち、意義等が詳しく説明された。又、真澄会の財政事情にも触れ、経費削減に向けての財務検討委員会を立ち上げ、会費値上げも視野

に入れた検討していくと財政健全化の決意を示された。

第7回校歌祭 主管校の大役果たす

11月25日(日)、かながわ芸術劇場で参加25校のトリを務めた真澄会合唱団が演奏を終えたのは16時。合唱団と参加者全員の「仰げば尊し」でフィナーレとなった。緑ヶ丘高校牧

陵会山下さんと鈴木会長が固い握手を交わし、

がわ芸術劇場で参加25校のトリを務めた真澄会合唱団が演奏を終えたのは16時。合唱団と参加者全員の「仰げば尊し」でフィナーレとなった。緑ヶ丘高校牧

度、曲折を経ながら引き受けた主管校の役割を無事務めあげた瞬間であった。

度、曲折を経ながら引き受けた主管校の役割を無事務めあげた瞬間であった。

度、曲折を経ながら引き受けた主管校の役割を無事務めあげた瞬間であった。

度、曲折を経ながら引き受けた主管校の役割を無事務めあげた瞬間であった。

―就任されて4年目、真澄会に対しての今の率直なお気持ちは―

―東日本大震災、110周年記念7事業、第7回校歌祭実行委員長校等大きな事が沢山ありました。印象に残っているのは―



鈴木宏司会長(59期)に聞く

若い人の参加に期待

「東日本大震災では、平沼高校の生徒に大きな被害がなくホッとしたこと。もう一つは、宮城支部長の齋藤様からのお便りで、会員の中に

面への支援が大切であると思っています」

「校歌祭については、大げさな表現ですが、真澄会、横浜平沼高校の名を傷つけることなくやり遂げることが出来ま

「事業の見直しを含めた財政基盤の確立です。積立金を取り崩すことなく、年度予算は年度収入内で作成する、作成できることが重要。そのためには、まず、縮小も含めて事業の見直しを行い支出の削減を図る。解決

「事業の見直しを含めた財政基盤の確立です。積立金を取り崩すことなく、年度予算は年度収入内で作成する、作成できることが重要。そのためには、まず、縮小も含めて事業の見直しを行い支出の削減を図る。解決

「事業の見直しを含めた財政基盤の確立です。積立金を取り崩すことなく、年度予算は年度収入内で作成する、作成できることが重要。そのためには、まず、縮小も含めて事業の見直しを行い支出の削減を図る。解決



も加わった校歌合唱と若さあふれる演出だった。最後は恒例となった小野校長をリーダーとするエールと校歌合唱。まさに会場が一体となり、名残を惜しんでのお開きになった。

「財政健全化については2面に」

「財政健全化については2面に」

「財政健全化については2面に」

「財政健全化については2面に」

「財政健全化については2面に」

「財政健全化については2面に」

「財政健全化については2面に」

「財政健全化については2面に」

「財政健全化については2面に」

「事業の見直しを含めた財政基盤の確立です。積立金を取り崩すことなく、年度予算は年度収入内で作成する、作成できることが重要。そのためには、まず、縮小も含めて事業の見直しを行い支出の削減を図る。解決

「事業の見直しを含めた財政基盤の確立です。積立金を取り崩すことなく、年度予算は年度収入内で作成する、作成できることが重要。そのためには、まず、縮小も含めて事業の見直しを行い支出の削減を図る。解決

「事業の見直しを含めた財政基盤の確立です。積立金を取り崩すことなく、年度予算は年度収入内で作成する、作成できることが重要。そのためには、まず、縮小も含めて事業の見直しを行い支出の削減を図る。解決

「事業の見直しを含めた財政基盤の確立です。積立金を取り崩すことなく、年度予算は年度収入内で作成する、作成できることが重要。そのためには、まず、縮小も含めて事業の見直しを行い支出の削減を図る。解決

「事業の見直しを含めた財政基盤の確立です。積立金を取り崩すことなく、年度予算は年度収入内で作成する、作成できることが重要。そのためには、まず、縮小も含めて事業の見直しを行い支出の削減を図る。解決

評議員会報告

平成25年4月21日(日)
定例評議員会が母校小ホールにて開催され議長に渡辺栄一さん(75期)を選出し、次の議案について審議が行なわれ、原案どおり賛成多数で承認された。

出席者数64名
(内訳・評議員44名、理事・事務局員20名)

第一号議案
平成24年度事業報告

第二号議案
平成24年度決算報告

第三号議案
平成25年度事業計画案

第四号議案
平成25年度予算案

第五号議案
役員退任に関する件

鈴木会長挨拶の要旨
・昨年度は「校歌祭」の主幹校として企画・運営に係わり、各校から高い評価を得た。
・本年度の予算編成は厳しい。財務検討委員会を立ち上げ、会費値上げも念頭に財政の建て直しを図る。
・今年度の新入生徒合計278名のうち、男子68名、男子生徒の減少が憂慮される。
・学校を指定して募金が出来なくなった神奈川県・まなびや基金に、募金の協力をおねがいしたい。

び充実
・部活OB会・同好会活動への後援・助成
・真澄会支部への支援
・県内同窓会への文化交流の促進・青春かながわ校歌祭参加
・歴史資料室交流
(小田原・横須賀)

【母校支援・後援】
・在校生に対する奨学金貸与・卒業生に記念品贈呈・活躍する部活動生徒に激励金贈呈
・母校行事後援・祝い金贈呈・先輩セミナー後援
・歴史資料展示室の運営管理・企画への協力
・「まなびや基金」募金への協力(新規)

【母校支援・後援事業】
・在校生に対する奨学金の貸与・卒業生に記念品贈呈・活躍する部活動生徒に激励金贈呈
・母校行事後援・祝い金贈呈・先輩セミナー後援
・歴史資料展示室の運営管理・企画への協力
・「まなびや基金」募金への協力(新規)

加、歴史資料室3校交流会へ参加

【110期生新評議員】
○鈴木 夢
村松 義英
袴田あかり
武田 拓矢

次の方が選出されました。
○印は代表評議員

【110期生新評議員】
・定例理事会の開催と各種委員会の随時開催
・節目の同期会開催に祝金108期
・校史資料の受け入れ、管理・展示・企画展の開催
・展示室入場者数、年間(概数)1,928名、開室以来延べ20,457名
・企画展(明治期の図書作品からたどる教師と教え子展・平沼祭、校史教育、施設見学会、オープンキャンパス、学校説明会等)における開室
・真澄会HPの管理運営及び充実
・部活・OB会活動への後援・助成・真澄会支部への支援・県内同窓会への文化交流の促進
・青春かながわ校歌祭参加

真澄会 平成24年度 決算書			
自平成24年4月1日 至平成25年3月31日 単位：円			
収入の部			
費目	24年度予算	24年度決算	差額
前期繰越金	1,363,819	1,363,819	
入会金	1,080,000	1,116,000	36,000
年会費	4,500,000	4,549,000	49,000
年会費(終身分)	700,000	1,120,000	420,000
小計	6,280,000	6,785,000	505,000
銀行利子	30,000	21,896	△8,104
寄付金	100,000	345,500	245,500
その他	36,181	371,765	335,584
小計	166,181	739,161	572,980
当期収入計	6,446,181	7,524,161	1,077,980
繰入金	1,110,000	1,110,000	0
収入合計	8,920,000	9,997,980	1,077,980

支出の部			
費目	24年度予算	24年度決算	差額
総会費	450,000	545,500	△95,500
諸会議費	450,000	384,790	65,210
会報発行費	3,550,000	3,534,543	15,457
行事費	300,000	228,401	71,599
県内同窓会交流費	300,000	450,507	△150,507
母校行事後援費	450,000	660,945	△210,945
支部等後援費	150,000	97,020	52,980
歴史資料展示室	100,000	38,219	61,781
ホームページ	200,000	85,069	114,931
110周年事業費	0	0	0
小計	5,050,000	5,094,704	△44,704
人件費	800,000	906,500	△106,500
事務費	200,000	241,503	△41,503
通信費	150,000	150,349	△349
振込手数料	350,000	315,650	34,350
水道光熱費	150,000	135,688	14,312
慶弔費	100,000	67,410	32,590
交際費	100,000	57,992	42,008
会室整備費	100,000	32,752	67,248
賃借料	120,000	142,065	△22,065
小計	2,070,000	2,049,909	20,091
当期支出計	8,020,000	8,074,903	△54,903
終身会費積立金	700,000	1,120,000	△420,000
歴史資料室積立金	0	0	0
予備費	200,000	0	200,000
次年度繰越金	0	803,077	△803,077
支出合計	8,920,000	9,997,980	△1,077,980

目的別積立明細書

内訳	前期繰越金	当期増加	当期取崩	次期繰越金
一般積立金	5,732,436		660,000	5,072,436
母校後援積立金	3,082,409	0	0	3,082,409
ますみ基金(奨学金等)	15,345,529	100,000	300,000	15,145,529
周年事業準備金	0	0	0	0
歴史資料室積立金	1,100,000	0	0	1,100,000
終身会費積立金	6,863,000	1,120,000	450,000	7,533,000
財政調整基金	1,500,000	0	0	1,500,000
総合計	33,623,374	1,220,000	1,410,000	33,433,374

真澄会 平成25年度 予算			
自平成25年4月1日 至平成26年3月31日 単位：円			
収入の部			
費目	25年度予算		
前期繰越金	803,077		
入会金	1,080,000		
年会費	4,500,000		
年会費(終身分)	700,000		
小計	6,280,000		
銀行利子	30,000		
寄付金	100,000		
その他	66,923		
小計	196,923		
当期収入計	6,476,923		
繰入金	1,060,000		
収入合計	8,340,000		

支出の部			
費目	25年度予算		
総会費	450,000		
諸会議費	300,000		
会報発行費	3,550,000		
行事費	300,000		
県内同窓会交流費	200,000		
母校行事後援費	200,000		
支部等後援費	100,000		
歴史資料展示室	250,000		
ホームページ	150,000		
小計	4,750,000		
人件費	800,000		
事務費	200,000		
通信費	150,000		
振込手数料	350,000		
水道光熱費	150,000		
慶弔費	100,000		
交際費	100,000		
会室整備費	100,000		
賃借料	170,000		
小計	2,120,000		
当期支出計	7,620,000		
終身会費積立金	700,000		
歴史資料室積立金	0		
予備費	20,000		
支出合計	8,340,000		

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
単位：円

財政の健全化へ
財務検討委始動

《財政の現状》
現在真澄会の一般会計予算は、赤字ではないが、経常経費を経常収入でまかなえず、基金や積立金を取り崩した繰入金で収支を保っている。基金や積立金にはそれぞれ本来の目的があり、その目的の範囲での取り崩しは是とされるが、単なる経常費の赤字補填のための取り崩しは、避けるべきものである。

《目的》
赤字基調の真澄会財政について、支出・収入、実施事業など多方面から検討を加え、真澄会財政健全化への道筋を作る。

《構成及びタイムテーブル》
会長、3副会長、3委員長の計7名。
毎月1回の開催を目標に年度末に一定の結論を出す。

《主な検討事項》
①経費削減の努力
②事業内容の見直し
③基金の統合・活用
④収入増の工夫
他、様々な角度から検討していく。

真澄会が長年培ってきた事業について、より良い方向性が出されることを願う。健全な財政を基盤にしてこそ真澄会活動の活性化が図られる。

終身会費納入者
(平成24年8月・25年7月)

須松遠	田本	優宏	進	59
上藤	山	58	58	58
宇波	湯浅	善子	58	58
田波	横溝	優子	58	58
川田	奥山	多賀子	58	58
目黒	伏見	由美子	58	58
早福	久雄	57	57	57
後藤	菅野	由利子	57	57
永井	輝明	57	57	57
市川	門奈	ゆき子	56	56
清水	敬	仲子	55	55
山崎	篠崎	和子	54	54
清水	川崎	和子	54	54
市山	三	義	53	53
大野	須賀	啓子	52	52
永井	草野	偉津子	50	50
佐藤	輝	治	49	49
根本	利根川	卓子	48	48
黒澤	見学	淑子	48	48
関根	関根	計枝	48	48
望月	田辺	英子	31	31

原田	伊藤	小島	松崎	鈴木	平田	演	田	森	田	大	関	森	田	田	演	平	鈴	松	小	伊	原
玄二	礼	紀	一	孝	苗	早	村	口	敏	早	正	久	節	色	野	上	一	三	川	奥	市
59	59	59	59	59	60	60	60	60	60	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61

寄付金
(平成24年8月・25年7月)

貴船	北見	田所	3,000	長島	小原	山本	岩本	井上	佐々木	野口	金子	長野	青木	佐藤	佐々木	5,000	山岡	7,000	近藤	水橋	関根	1,000	山崎	荒井	2,000	永森	3,000	浅場	2,000
(鈴木)	(高島)	(椿山)	円	佐和子	絵	紀	朗	雄	(故人)	和子	和子	司	操	雍	牧子	治	望	捷	英子	計枝	悠一	幸子	雄	之	之	之	之	之	
56	50	49		95	87	84	74	65	64	63	59				31	66	99	60	48	48	63	51	50						

<お詫び>
この度、2005年発行の会員名簿に、ご健在である64期9組松本勇次様を誤って物故者として掲載していた重大な誤りが判明いたしました。
ご本人、ご家族、並びにご関係の皆様方に、多大なるご迷惑をおかけした事を深くお詫び申し上げます。
2006年以降は、会員名簿は発行しておりません。お手元に2005年版の会員名簿がございましたら、ご訂正していただきたく、よろしくお願い申し上げます。
真澄会会長 鈴木 宏司
2005年版 名簿編集委員

支部だより

宮城支部

齋藤 彰世（66期）

平成25年6月2日（日）第9回宮城真澄会総会が仙台駅近くのホテルメトロポリタン仙台内の和風レストラン「はや瀬」で開催されました。

今回、野村 脩さん（50期）と、同じ50期の市川務さん（新潟支部事務局担当）のお二人が遠路ゲストとして参加して下さいました。宮城真澄会の参加者は42期から66期の私まで6名、合計8名で話はずみ3時間があつたという間です。特に53期の茂庭房子さんは水泳部の先輩であつた市川さんに57年振りで再会され懐かしい話で大いに盛り上がりつきました。

「新潟支部も集まりは決



して、世界遺産登録を目指す富岡製糸場を見学しました。

明治時代、群馬県下のこの工場から、輸出用の生糸が横浜港に送り出されていったもので、レンガ作りの美しい建物は当時のままの姿でした。



作業所の機械は、つい最近まで動いていたかのように、和服姿の女工さんが横一列になって、操作をする姿が彷彿としてきました。その後、各地で技術指導者となった女工さんは、野麦峠の悲話とは違っていたようです。

国営工場をのちに譲り受けた原三溪が、シルクで築いた財で、横浜に三溪園を残しました。

横浜と縁の深い富岡製糸場見学発案者の堀越登志さん（39期）、中村栄子支部長（58期）を始め、お世話を下さった幹事の皆様の企画力に感心しました。

埼玉支部

谷合 規子（58期）

昨年6月、26人が参加



平塚グランドホテル神奈中「松風」で開催されました。三田会長の挨拶で始まり、自己紹介そして、青春時代の楽しい思い出話。老若男女、時の過ぎるのも忘れる位話に花が咲きました。やはり、諸先輩方々のお話には重みがあり、私が参考にさせて頂きたいことが多くございいます。生の声を聴けるといふことはとても貴重でございます。



今回は10名参加でございました。写真撮影ですが、一次会の時は忘れてしまつて二次会で撮影させて頂き、男の方3名は帰った後なので申し訳ございませんが女の方だけの写真となりました。来年も6月に支部会を予定しておりますので皆様のご参加を期待しております。

ところで、9月10日には奥湯河原温泉山翠楼旅館にて一泊旅行を予定しております。参加ご希望の方はご連絡ください。お待ちしております。

今年度の梅雨は何故か爽やかな晴れ間が続いています。秋10月か11月の行事としてあります。第1回は小田原市民会

館で10人に満たない少数での参加が出発点でした。現在、東は藤沢周辺、大磯から西は湯河原、箱根まで。又相模原、南足柄と広範囲に及び、毎回いろいろな情報が寄せられ和気あいあいの楽しい会になっております。

会員各位の自宅や諸施設を利用し、親身な交流でピアノ演奏等それぞれを高めあう会を心がけています。高齢化が進み若い人達の参加が少なくなつてきましたが、「通信教育」の会員の方が何よりの励みになっていきます。

これからも益々健康に留意して会を盛り上げてゆきたいと願っています。

千葉支部

柴田（山本）勝（60期）

7月7日、織姫と彦星の逢瀬のごとく48期から62期までの男女18名が出席。今回は稲毛駅集合、

平塚支部

海藤てる子（63期）

今年度の梅雨は何故か爽やかな晴れ間が続いています。秋10月か11月の行事としてあります。第1回は小田原市民会

西湘支部は以前にも何か紹介させていただきましたが、原則として年1度支部会を開催しております。秋10月か11月の行事としてあります。第1回は小田原市民会

西湘支部

岩本 実子（52期）

西湘支部は以前にも何か紹介させていただきましたが、原則として年1度支部会を開催しております。秋10月か11月の行事としてあります。第1回は小田原市民会

石川支部

竹内深野 優美子（77期）

5月12日（日）定例の真澄会石川支部の総会（食事会）を金沢ニューグランドホテルで開きました。今年度は新しく、若い103期の北國新聞社にお勤めの長谷川愛さんが加わり、1時間半のバイキングを楽しみました。



重田さんの双子のお孫さんの事、私の去年のイタリア旅行、林さんのベルギーの話、長谷川さんのお父さんのタイの事、新しい平沼高校、昔の平沼高校の事など話に花が

関西支部

浜口 敏夫（60期）

関西真澄会の近況、第31回関西真澄会の例会を、梅田阪神百貨店10階の「旬粋」にて、平成24年11月18日（日曜日）昼の12時より、行いました。



今回参加者は、赤松恵美子（41期）末廣春江（51期）天香富美枝（51期）小宮起（51期）飯田二郎（53期）宮崎和利（54期）竹村栄子（56期）近藤優美子（60期）後藤翔子（60期）平井興二郎（60期）濱口敏夫（60期）以上敬称略の11名で、小宮起会長の乾杯発声が始まり、今回より初参加の竹村栄子様はじめ全員の近況報告や懐かしい平沼時代の思い出話に花が咲き、3時間弱のひと時もあつと言う間に過ぎてしまいました。

今年も例会を11月の第3日曜日（17日）に行う予定です。関西在住の平沼出身の方のご参加をお待ちしております。

いずみ支部

藤田志津子（通21期）

平成24年度「いずみ支部」総会と懇親会が10月28日（日）午後2時から横浜二俣川の「スナック・ブーさん」にて、16名の方の参加をもって行われました。

最初に岡本支部長の音頭で乾杯のあと、松本名誉会長から、横浜平沼高校通信制の今日までの歩みについての経過説明がありました。

次にいずみ支部の新役員が岡本支部長から提案され、全会一致で承認されました。

その後、手作りの料理がテーブル一杯に並び、舌包みを打ちながら、自己紹介をかね、一言ずつ近況を語りあいました。



皆さん苦労して通信制を卒業されただけあって、努力と忍耐で人生を切り開いてこられた体験には胸が熱くなりました。

「カラオケ」「社交ダンス」「ビンゴゲーム」と懇親会で盛り上がり、最後に全員でカメラに収まると散会しました。

問合せ先
濱口 敏夫（60期）
（072）25-5435
近藤優美子（60期）
（06）6835-1330です。

久し振りの学校の新聞を有難うございました。まあ一人で歩いて行動して、生きていますと申上げ様でございます。

戦前、戦中、戦後と生きて来て今91歳です。一人で行動出来るだけ幸せと思っております。寝たきり老人が多くなっています。皆様が元気で活躍下さいませ。

御かげ様にて90歳を迎える年となりました。高齢者の御仲間入りをして、かなりの年月を経てしまいました。あとはあちらの国へ行く日を待つだけでございます、ありがとうございました。御若い皆様の御活躍を御祈りしております。

安永（西方）能子（37期）
真澄会の発展ご繁栄を願つてます。

戦後のゴタ・で卒業証書もいたたいていません。4年間で早く切上げ卒業後疎開して奥多摩にいたためか。

市川照子（42期）
間もなく満80歳になります。永い間お手数をおかけいたしました。

高山（清水）香織（48期）
永い間ありがとうございます。最後の棲家に移り住んで余生をひっそりと送ろうと思っております。以後、真澄会報は結構です。

水橋（小沢）英子（48期）
13年は80歳になります。以後は会費不要なの？

浜野（浅野）まり子（49期）
76歳、もうすぐ喜寿ですが「いよよ華やかいのちなりけり」でがんばっています。

青木宏之（51期）
真澄会報を読むと「生涯学び盛り」を新たにします。

母は今年3月3日に亡くなりました。平沼高校を愛し、とても誇りを持って人生を終えることが出来たこと感謝しています。

安原（山本）重子（37期）
ご家族の中村宏子様より

岩崎（市川）晃代（86期）
いつもありがとうございます。

稲葉久美子（99期）
（株）せいの浅場由之です。鳩サブレで有名な豊島屋さんのとなりで洋服屋をしています。

浅場由之（通29期）
浅場由之（通29期）

越智愛子は2011年7月7日に永眠いたしました。長い間、平沼高等学校の方々には大変お世話になりました。大変お世話になりました。亡母に代わり心より御礼申し上げます。

林（矢向）宏子（47期）
ご主人 林孝彦様より

早山圭子（通35期）
今年度をもちまして、退会させていただきます。長い間、お世話になりました。本当にありがとうございました。

母、杉浦静枝（明45年5月1日生）は平成23年11月5日に99歳にて逝去いたしました。母にいたしました。母にいたしました。母にいたしました。

杉浦（成松）静枝（27期）
長女の石川清子様より

母は今年3月3日に亡くなりました。平沼高校を愛し、とても誇りを持って人生を終えることが出来たこと感謝しています。

安原（山本）重子（37期）
ご家族の中村宏子様より

岩崎（市川）晃代（86期）
いつもありがとうございます。

稲葉久美子（99期）
（株）せいの浅場由之です。鳩サブレで有名な豊島屋さんのとなりで洋服屋をしています。

浅場由之（通29期）
浅場由之（通29期）

越智愛子は2011年7月7日に永眠いたしました。長い間、平沼高等学校の方々には大変お世話になりました。大変お世話になりました。亡母に代わり心より御礼申し上げます。

林（矢向）宏子（47期）
ご主人 林孝彦様より

早山圭子（通35期）
今年度をもちまして、退会させていただきます。長い間、お世話になりました。本当にありがとうございました。

母、杉浦静枝（明45年5月1日生）は平成23年11月5日に99歳にて逝去いたしました。母にいたしました。母にいたしました。母にいたしました。

杉浦（成松）静枝（27期）
長女の石川清子様より



お願い

会費納入振込用紙の通信欄を活用して、皆様の意見やミニ情報などお寄せ下さい。「真澄だより」として会報に掲載いたします。

縦のぎずなOB会 同好会

バスケット部

蓮田 亮大(90期)

バスケットボール部後援会(OB会)は、80歳を超える大先輩から、高校卒業した若者まで、会員数800名を超える多くの卒業生に参加いただき、活動を行っております。

本年度も昨年同様、夏休みに現役交流会を予定しております。現役生と「お父さんお母さん」世代、「お爺ちゃんお婆ちゃん」世代の「バスケ」を通じて、同じ汗を流し、世代間の交流を話し合う機会も、現職間の杉本先生のご協力をいただき、いよいよ恒例として定着してきました。また、年に一度発行している後援会報「球信」も、全国のバスケット部卒業生から寄稿していただいております。こうした事を通じて、全国の多くの仲間と結びつきを維持し、続けようと考えております。また、若手の卒業生は、積極的に在校生の部活動練習に参加し、昨今の部活動離れを吹き飛ばすべく、活動に活動を行ってあります。現役生は卒業後、あこがれていた先輩たちと共にOB会チームとしてクラブチーム登録し、新旧共に活動を継続しております。毎月、近隣のスポーツセンターを利用し、OB・OGはもとより幅広く参加を募り、一層意欲的に練習を行った結果、今年度は念願の横浜市2・3部リーグの返り咲きを果たしました。

今後も趣向を凝らし、なお一層楽しい時間を分かち合いたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

柔道部

宮本 敦子(79期)



6月8日(土)中華街重慶茶楼本店にて平沼柔友会総会が行なわれました。出席者は50名、今春卒業の18歳から上は75歳まで、なんと年齢差57歳!当日は、母校道場で現役との交流が盛んに行なわれ、OB・OG先輩方でした。入部した当初は先輩方と私の3人しかいませんでした。2年生の夏には部員が1人となり、この先続けられるか不安でしたが、そんなときはいつも支えてくださったのが、OB・OG先輩方でした。毎年夏には激励会を開いてくださり、現役生を励ましてくださいました。横のつながりがなかった私にとつて、縦のつながりがこんなにも強いことがありたいと思いました。卒業後も、新年会などが開かれ先輩方とは今でも交流があります。今後もこのつながりを大切にしていきたいです。

体操部

柴崎なお子(104期)

私の高校生活における一番の思い出は、部活動です。体操部に入ったきっかけは、先輩たちのように力強く綺麗な演技を見てみたいと思ったからです。部員不足で入部した当初は先輩方と私の3人しかいませんでした。2年生の夏には部員が1人となり、この先続けられるか不安でしたが、そんなときはいつも支えてくださったのが、OB・OG先輩方でした。毎年夏には激励会を開いてくださり、現役生を励ましてくださいました。横のつながりがなかった私にとつて、縦のつながりがこんなにも強いことがありたいと思いました。卒業後も、新年会などが開かれ先輩方とは今でも交流があります。今後もこのつながりを大切にしていきたいです。



ハンドボール部

近久 紀人(66期)

46期から数えて600名になろうとする会員数となった長い部の歴史で今年の1月、県大会初優勝、3月、全国大会初出場と

今年の現役女子は先輩達が培った礎を一気に開花させた。我らハンドボール部OB OG会は卒業した若手から60歳を越すメンバーまでが「生涯ハンドボール」を楽しむ環境を築いている。そして、現役の活躍振りは我らに感銘を与え、学校・保護者・OB OGの連携を一層密にする機会を与えられてくれている。本当に感謝に堪



ソフトボール部

※2・3クラブ(広報注)
2(旧女子高平沼・立野)
3(旧男子校・希望ヶ丘・翠嵐・緑ヶ丘)

1月5日(土)恒例のOG新年会を開催しました。歴代顧問 井上先生、栗原先生、玉生先生、上羽先生、岩井コーチにご出席いただき、71期・104期の30名十子ども達8名で賑やかに楽しく懇談しました。前半のソフトボールは、参加者がちよつと少なく、5人vs5人のゲームとなり、外野に飛んだら1ベースというルールで楽しみました。後半は、それぞれ近況報告をして、子ども達お待ちかねのビンゴ大会で盛り上がりしました。来年は、子ども達連れのママ達もソフトボールがで

野球部

早福 久雄(57期)

文科省の部活指針は今一つ釈然としない。炎天下のランニングは40度を超す。訓練せずに試合をさせれば弱な選手がバタバタ倒れること必定!現場を知らない輩が決めることとなる。野球部OB会は、6月15日総会と現役選手激励会を開催した。現在現役との唯一の接点である寄付は継続

山岳部

浅井(天野)裕司(66期)

横浜平沼山岳会(HAC)は山岳部OBを母体に山岳部員以外の卒業生とその家族を含めて活動しています。横浜平沼山岳会は今年、60周年を迎えました。6月2日には横浜



駅西口の焼肉レストラン「たたら」に全会員の3分の1にあたる74名の会員が全国から集り、60周年記念パーティーを行いました。山岳部創設当時の顧問をして下さった渡辺栄一先生と小澤明夫先生の2人の恩師にもご出席を戴き、皆が高校生に戻った様な熱気にあふれたパーティーとなりました。9月には60周年記念夏山合宿を伊勢原の「日向ふれあい学習センター」で行なう予定です。横浜平沼高校山岳部のふるさと丹沢でキャンプファイヤーを囲んでエネルギーを充電し、次の70周年、80周年に繋げたいと思います。

吹奏楽部

鎌田 健二郎(76期)

昭和58年、吹奏楽部の

放送劇部

定仙 勝弘(59期)



放送劇部は、ラジオドラマや朗読、ディスクジョッキーなどを制作し、NHKや民放連などのコンクールで輝かしい成果を挙げた歴史を持っています。昭和32年卒(54期)から37年卒(59期)までの当時のメンバーで毎年新年会を開催しています。

ますみ俳句会

松本 道男(通1期)

母校創立百周年記念事業として結成された「ますみ俳句会」は、昨年から今年にかけて第23・24回を開催しました。高得点を紹介します。

第23回10月6日開催
千葉英子(42期)
だまし絵のごとく
まののり
成田清子(51期)
どこまでも花野
どこまでも青空
石田清子(51期)
鮎(はら)眺んで河口の
夕日したたらす
千葉英子(42期)
朝顔や折り目正しき
祖母なりし
石田和孝(会友)
水飲み場いづも鳥なる
残暑かな
松本道夫(通1期)
釣瓶落し鬱といふ
字の樹海めく

第24回3月21日開催
千葉英子(42期)
幸せは足元にあり
クロッカス

松本道男(通1期)
波雪や校庭のふら
音待めく
成田清子(51期)
桃の花一生を知る
人の数
渡辺喬子(60期)
チュウリップひとつ
ひとつに子の未来
松本道夫(通1期)
たこ焼きとくると
近す花の下
千葉英子(42期)
春めくマツチの
箱のルノアール
成田清子(51期)
降り出しも終わりも
知らず春の雪

60周年 ひとと節

あれから10年 野口 裕子(60期)

日頃の行いの良さでしようか、前日の爆弾低気圧が嘘のような快晴に恵まれ、平成25年4月7日ベインシエラトンホテルに於いて「平沼38会あれから50年記念同期会」を開催いたしました。

今回は初出席の方、佐賀、大阪、兵庫、京都、愛知、山梨県等々遠方から駆けつけました。

柳家小せん師匠(90期)に出演依頼をしましたが、予約済のため、予約済のため、めめ弟弟子の鈴々舎風車二つ目が出演してくれました。

同期会を開催しました。当日は歴史に残る大雪で、足元が悪い上に、交通網が乱れてしまい、来ることが出来なかった人が多数出てしまいました。晴れ着姿の108期生90人弱が出席、三年時担任の先

108期

祝成人・同期会 相澤真梨(108期)

平成25年1月14日(月) 祝 横浜国際ホテルにて

「みんなしゃべってばかりで静かに聴かないから20分位でお願いね」と高座に上がってもらったが、開口一番「天国で友人にあってアノヨ!」大爆笑の連続でした。最後に校歌斉唱、エールそして38会の兄貴分齊藤幸雄先輩が38会にエールを送って下さり、無事に終了。半数が二次会に繰り出しました。

各界で活躍の同窓生を随時紹介していきます。今回は母娘そろって故佐藤一夫先生の教子であり、東京芸大卒の音楽家吉岡康子さん(49期)、毛呂(吉岡)小鼓音さん(79期)のお二人に登場いただきます。

輝く同窓生

母娘で奏でるハーモニー

吉岡 康子さん
毛呂小鼓音さん

吉岡康子さんは在学中に神奈川県高校音楽コンクール声楽部門で優勝、二期会で多くの演奏会、オペラ公演に出演。ご主人の故吉岡康子さんのジョイントコンサート、小鼓音さんも加えて



4月13日「かなつくホール(神奈川区)」でジョイントコンサートを開催

在ニューデューミュージックを主宰、音楽教室講師、社交ダンスの指導と、今も若々しく元気に活動している。

毛呂(吉岡) 小鼓音

さんは芸大在学中に劇団四季に入団、ヒロインクリスティーヌ役でオペラ座の怪人、その他キヤッツ、回転木馬など多数に出演。又、めざましクラシックスなどに出演した。歯科医師毛呂文

母校を語る

佐藤先生の思い出

(小鼓音さん)

平沼高校を卒業して30年余りの歳月が過ぎました。平沼に通っていた感覚も気持ちもまだ昨日のこのように残っています。

母は第一高女から平沼が誕生した時の生徒です。母は平沼は私たちが母娘として、人格の半分以上を形成しているといつも過言ではありません。その「学校の顔」のよ

うな佐藤一夫先生がこの春他界されました。一夫先生は母の在学中に赴任され、母に音楽の手ほどきをしてくださりました。母は音楽の道を目指すことになりました。それは母の人生にとっても大きな影響を及ぼし、結果、私も先生の教えを受けることとなりました。

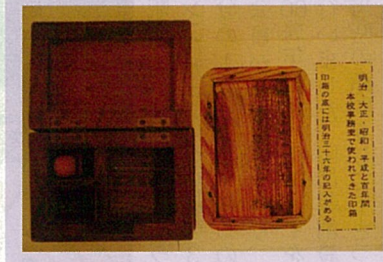
同じ学校にこんな長く(ほとんど住居のようでした)在籍されるという事は今では無いことですし、一人の先生が学校の特徴のようになるということも珍しいことだと思います。

先生の音楽への情熱に触れ、先生のように生きたいと憧れた生徒は数知れないはず。私たちが母娘もその一人です。お陰様で長年音楽を愛する気持ちは消えず、遂にこの春、母とジョイントコンサートをする事が出来ました。

お宝資料紹介

「百年使用と耐えた印箱」

今回のお宝は、明治36年から大正、昭和、平成まで百年間本校事務室で使用された印箱である。現在は第1歴史資料展示室の奥、先代の校旗と共に展示されている。



歴史資料展示室開設 10周年



平成15年9月27日に開設された歴史資料展示室は今年10周年を迎える。来室者は2万1千人を超え、母校の歴史をたどる要となっている。今年には関東大震災から90年にあたることから、標題の展示を企画した。2年前、現3年生が本校で合格者説明会の際、3・11の東

『過去に学び、いまに備えるー関東大震災から90年』

「まなびや基金寄付申込用紙」送付

会報と一緒に同封してあります。母校のためにぜひご協力下さい。詳細は母校ホームページ(校長からのお願い)をごらん下さい。

アドレス
<http://www.yokohamahiranuma-h.penkanagawa.ed.jp/>

好評! コンビニ振込みの会費納入

「コンビニ振込み」は手軽で便利です。皆様のお手許には「郵便」と「コンビニ」の2種類の振込用紙が届きますので、ご利用ください。ただし「コンビニ」は1,000円しか振込できません。2,000円以上の場合は「郵便」をご利用ください。

先輩セミナー

(略歴)講演内容などは当日配布の資料、花橋を参考に要約

平澤エミ子(67期)

織物研究家 織物作家
《略歴》染織技術のリーチと研究を、広く国内外で行う。新聞、ラジオ、テレビ等でもそれを紹介。

人生は不公平?だから色とりどりの人生が。私たちはそれぞれの色を持って生まれる。その色を経糸として、一瞬一瞬の自分の輝きの色が緯糸となって、人生の織物が織ら

山下 良則(71期)

松竹(株)システム室室長兼(株)松竹マルチレックスシアターズ顧問
《略歴》外資系企業ユニバーバ入社、7年前に松竹(株)転職。

井上 道雄(71期)

東京家庭裁判所 少年部次席書記官
《略歴》書記官として横浜地裁等を経て現在司法研修所。

私の高校時代、裁判所の仕事(少年未成年)が悪い事をしたら?少年事件に係わる人、社会人になること(同級生と手をつないで、今やるべきこと。

太田 耕人(71期)

京都教育大学副学長(研究推進担当)兼付属図書館長(演劇評論家)
《略歴》ケンブリッジ大学客員研究員、京都教育大学英文学教授、演劇専門誌連載、劇評、朝日舞台芸術賞選考委員など、その他文化芸術に関する諸委員。

秋山 怜史(97期)

一級建築士事務所 秋山立花 代表
《略歴》一級建築士、建築事務所設立

高橋(本橋)とし子(74期)
日本旅行グループ株式会社(株) 東京ツアーコンダクター登録添乗員
《略歴》相模光(株)、世界放浪の旅、トラベル・トリビューン誌記者を経てプロ添乗員に。



平成24年度 講演日 平成24年11月22日(木)

講師陣 前列左から
高橋とし子さん(74期)、平澤エミ子さん(67期)、菅原由夏さん(103期)

後列左から
鈴木会長、山下良則さん(71期)、井上道雄さん(71期)、太田耕人さん(71期)、秋山怜史さん(97期)、小野校長

平成25年度 講演日 平成25年11月21日(木)

阿部 早苗(83期) 産業翻訳者
松坂 有子(85期) グラフィックデザイナー
福永めぐみ(103期) 獣医師

ほか未定

会員作品紹介

写真・絵画・書・アート作品など募集しています。



「着物デザイン」平成24年全国着物デザインコンクール金賞
谷口 智彩 現3年在学



油絵「あさき夢みし」瀬谷美術展(2009年)
戸栗(菅野)多恵子 63期

母校在校生の活躍に素晴らしいものがある。益々の優秀な実績を期待する。

(Y・I)

編集後記

こんにちは! “真澄会事務局”です。

事務局員は、毎週火曜日に在室して事務を行っています。連絡事項、問合せ等、10時~15時の間にお電話下さい。

Tel/Fax : 045-311-3356

回線の都合で、Faxも火曜日のみの受信となります。ご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。

事務局へのメールは jimukyoku@masumikai.org

事務局 岸村恵子(71期) 高橋節子(75期)